２０２５年2月２６日

国立大学法人東京科学大学
　　理事長　大竹　尚登　殿

東京科学大学病院監査委員会

２０２４年度 第2回 東京科学大学病院監査委員会結果報告書

東京科学大学病院監査委員会規則に基づき、下記のとおり監査を実施しましたので報告いたします。

記

１．監査日時
　　２０２５年2月5日（ 水 ）１０：００～１１：１０

２．監査方法
　　病院の安全管理体制等について、病院管理者、医療安全管理責任者、医療安全管理部長、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者へのヒアリングを行った。

３．監査対象期間
　　２０２４年4月1日　～　２０２４年9月３０日

４．監査内容

① 前回の監査内容および監査結果について確認を行った。
② 監査対象期間における医療安全管理業務に係る活動報告及び管理体制の確認を行った。
③ 事例１【 整形外科、小児外科 】「脾捻転解除後に硬膜外血腫を発症した事例」と事例２【 口腔外科 】「２０１９年８月に発生した埋伏永久歯抜歯事例」について、概要と検討結果及び対応の説明を受けるとともに、質疑を行った。

５．監査結果

① 前回の監査結果に関して、是正措置を講じるような問題等は特段なかったことが確認された。

② 監査対象期間における医療安全管理業務に係る活動報告及び管理体制について、適切に活動及び管理されていることが確認された。

③ 事例１【 整形外科、小児外科 】「脾捻転解除後に硬膜外血腫を発症した事例」と事例２【 口腔外科 】「２０１９年８月に発生した埋伏永久歯抜歯事例」について、ともに特殊な事例であったが院内の検討や対応が良く行われていることが確認された。

④ 全体を通じて、発見、対処、コミュニケーションのレベルにおいて、特定機能病院にふさわしく、医療安全において高度で先駆的な対応をしている。教訓となる事例を院内で多く共有していることを高く評価する。また、病院一体化により新たな課題等も発生しているなか、医科・歯科において連携し医療安全に取り組まれている点は評価できる。医療の内容も多岐にわたり高度化し現場の負担も増している中、守られるマニュアルの再整備検討、具体的な改善策などを適切に講じて取組みを継続していただきたい。

以上